



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 21 号

R3.9.11

文責 中西 勉



“自分ごと”

昨日までのハイブリッド授業を終え、今日からは全員登校を開始しました。愛知県の緊急事態宣言が9月30日(木)まで延長される中で、全員登校による授業を安心・安全に進めていくためには、子供たち一人一人の感染予防意識がとても大切になります。

そこで、今朝、放送による全校集会を開き、私から男川っ子に向けて、「小学生は、現在、誰もワクチンを打っていません。ワクチンを打った大人の人に比べて、皆さんはウイルスに対してバリアがない状態です。だからこそ、感染予防を“自分ごと”としてとらえ、自分にできる予防策を自分で考えて行うようにしましょう」と話しました。そして、感染予防のポイントとして、「①あける・②おおう・③あらう」というキーワードを示し、さらに、それらを「2倍にする」とより効果的であることを伝えました。

今後、校内で感染が起きないように、子供たちと職員が連携して取り組んでまいります。趣旨をご理解くださり、ご家庭でもご家族で感染予防に十分ご注意くださいようお願いいたします。



▲全員で国語の音読みをする2年生



▲2学期の活動について話し合う3年生



シリーズ「東京オリンピック」③ ～最後まで諦めない気持ち～

シリーズ第3回は、卓球混合ダブルスで卓球王国中国を破って日本卓球史上初の金メダルを獲得した水谷隼／伊藤美誠ペアにフォーカスします。決勝では、大接戦の末、中国ペアを4-3で破った水谷隼／伊藤美誠ペアでしたが、2人にとってこのオリンピックでの最大のピンチは、準々決勝のドイツ戦だったと思います。私はこの試合をLIVEで見えていましたが、最終第7ゲームで2-9と超劣勢になっても決して弱気になることなく、また、6-10からのマッチポイントを何度もしのいで勝利をつかんだ精神力の強さに大きく心を揺さぶられました。試合後に、水谷選手は「土俵際に立たされたけど、最後まで諦めない気持ちが勝利につながったと思います」と話し、また、伊藤選手は「水谷選手とだから勝てたとすごく感じました。水谷選手の諦めない気持ちとか、声も一本一本でかけてくれましたし、顔つきもそうですし、水谷選手と組めたから勝てたと感じました」と語っています。この「最後まで諦めない気持ち」によってこの試合に勝利したことで、それが大きな自信となって、決勝で最強の中国ペアを破るという偉業に結び付いたのだと思います。水谷隼／伊藤美誠ペアの姿から、最後まで諦めないことの大切さや素晴らしさを学びたいですね。

